

平成8年社会生活基本調査結果速報（その2）

第2 生活行動（茨城県民）

1. 種類別に見た生活行動

スポーツー「ボウリング」、「軽い体操」、「運動としての散歩」の行動者率が高い

○過去1年間にスポーツを行った者は、1,929千人で、10歳以上の人口に占める割合（行動者率）は、男子が79.4%、女子が67.7%で、男子の方がかなり高い。（表1）

○行動者率が高い種目は、「ボウリング」(27.7%)、「軽い体操」(26.6%)、「運動としての散歩」(22.1%) などである。

男子が特に高いのは、「野球」(男子25.9%、女

子4.8%)、「ゴルフ」(男子22.7%、女子4.9%)、「つり」(男子25.2%、女子5.4%)、「ソフトボール」(男子20.1%、女子3.7%)、「サッカー」(男子13.5%、女子2.3%)で、逆に女子の方が高なのは、「運動としての散歩」(男子19.1%、女子25.1%)、「エアロビクスダンス・ジャズダンス」(男子0.5%、女子5.3%)、「バレーボール」(男子7.4%、女子12.6%)である。（図1）

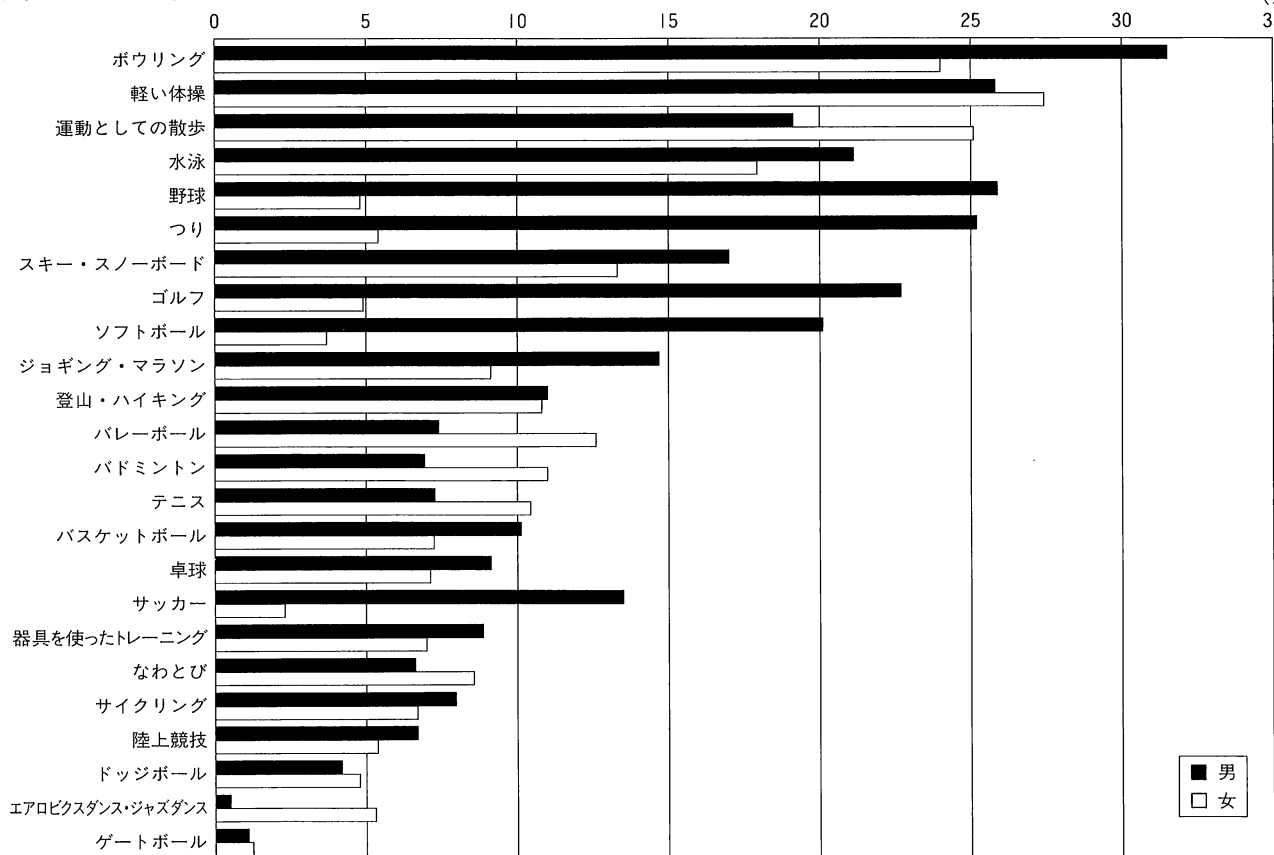
表1 男女、年齢別「スポーツ」の行動者率

(%)

	10歳以上	15歳以上	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上
男女計	73.5	71.7	86.6	81.5	81.1	70.4	63.1	50.8	39.7
男	79.4	77.9	88.9	87.1	87.2	76.1	67.3	57.7	50.6
女	67.7	65.6	84.2	75.5	74.7	64.4	58.8	45.1	33.5

図1 男女別、スポーツの種類別行動者率（10歳以上）

(%)



■調査から

学習・研究—男子は「商業実務・ビジネス関係」、女子は「家政・家事」が高い

○過去1年間に「学習・研究」を行った者は、735千人で、行動者率は28.0%である。男女別の行動者率は、男女ともに28.0%である。（表2）

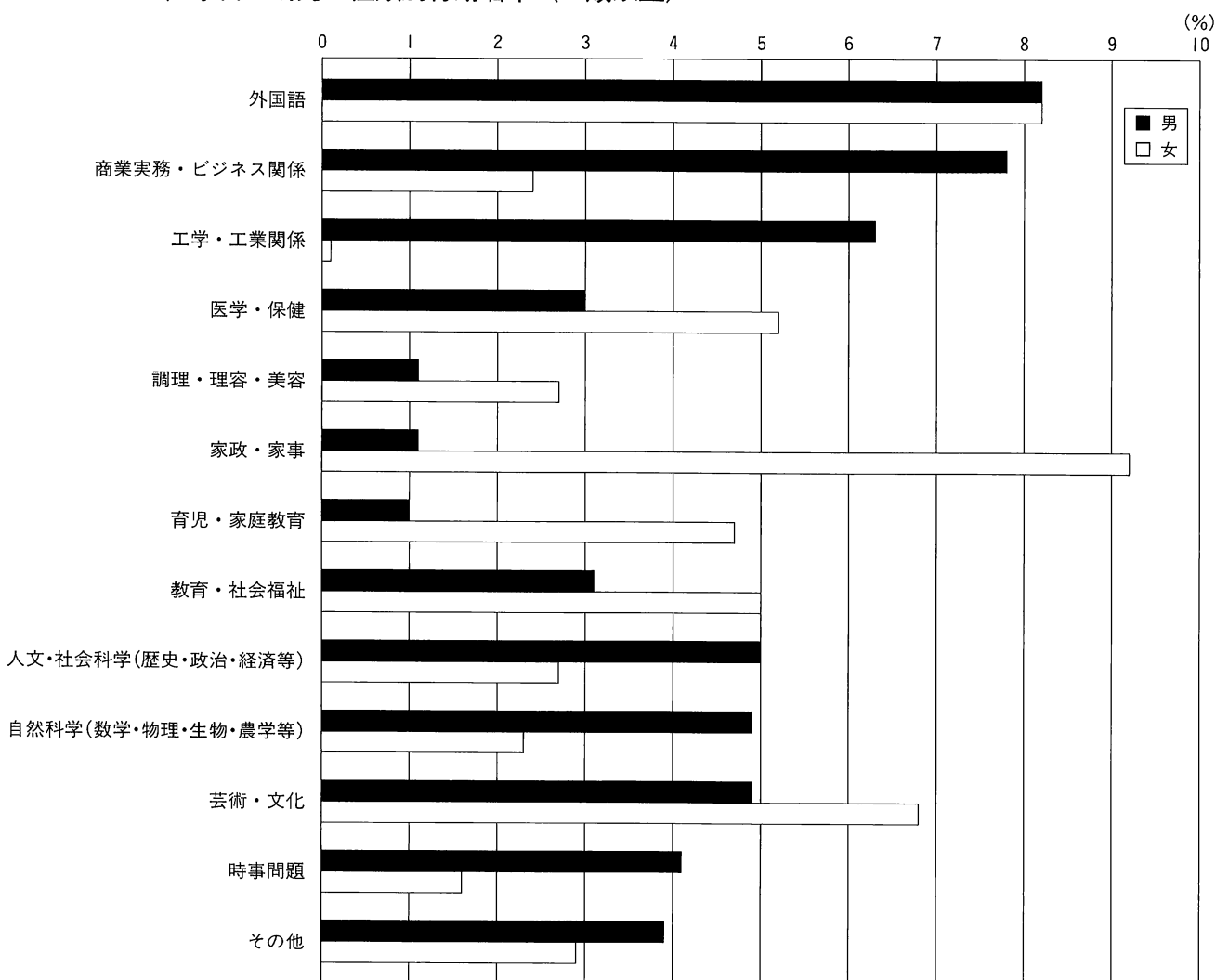
○種類別行動者率を見ると、「外国語」が男女と

もに高く、それ以外では、男子は仕事と関係の深い「商業実務・ビジネス関係」(7.8%)、女子は日常と関係が深い「家政・家事」(9.2%)を学習する者が多い。（図2）

表2 男女、年齢別「学習・研究」の行動者率 (%)

	10歳以上	15歳以上	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上
男女計	28.0	27.9	32.7	37.2	32.6	29.6	22.1	15.7	6.9
男	28.0	28.1	27.4	35.0	34.1	29.9	22.9	19.5	10.8
女	28.0	27.6	38.1	39.5	31.0	29.3	21.4	12.5	4.7

図2 男女別、学習・研究の種類別行動者率（10歳以上）



趣味・娯楽－「レコード・テープ・CD等による音楽鑑賞」、「ドライブ」、「カラオケ」が高い

○過去1年間に「趣味・娯楽」を行った者は、2,306千人で、行動者率は87.9%である。男女別の行動者率は、男子が88.7%、女子が87.0%で、男子の方がやや高い。(表3)

○男女とも行動者率が高い「趣味・娯楽」は、「レコード・テープ・CD等による音楽鑑賞」(49.5%)、「ドライブ」(46.3%)、「カラオケ」(42.9%)、「園芸・庭いじり」(34.7%)、「遊園地・動植物園・博覧会等の見物」(37.4%)、「趣味としての読書」(33.4%)である。

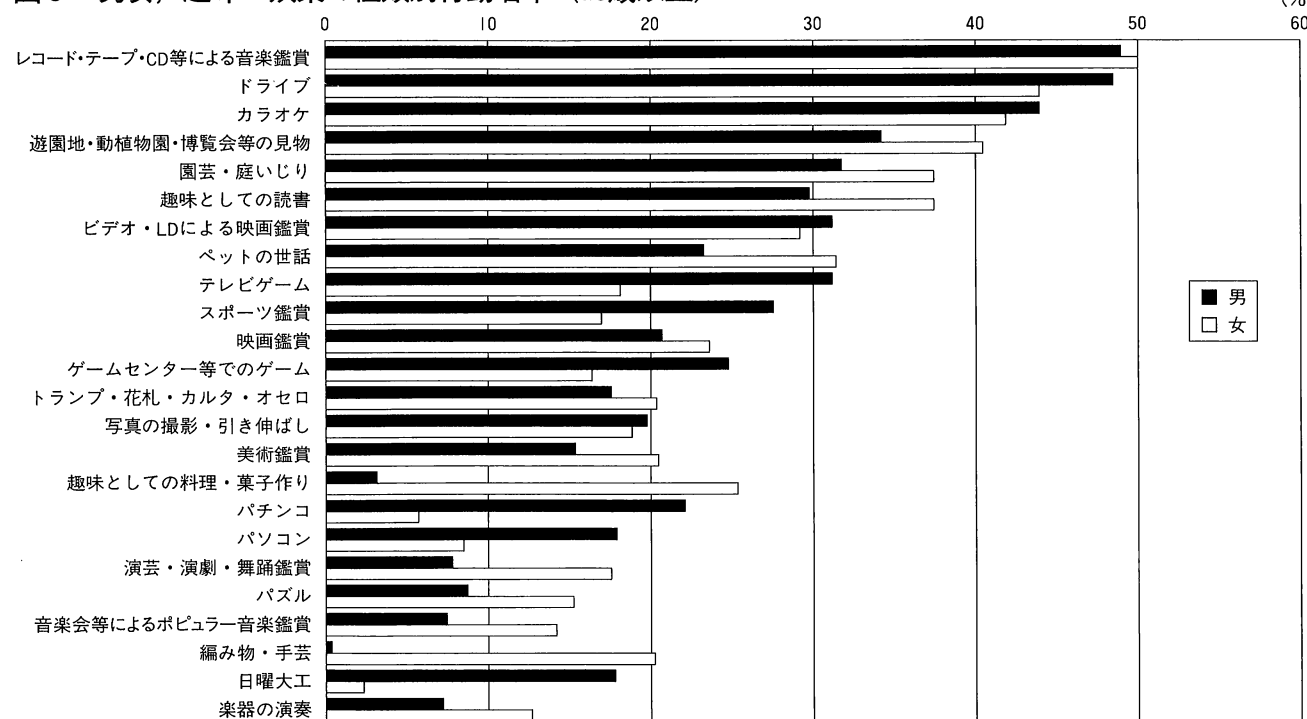
このほか、男子では「スポーツ鑑賞」(27.5%)、

「ビデオ・LDによる映画鑑賞」(31.2%)、「テレビゲーム」(31.1%)、「パチンコ」(22.1%)、「ペットの世話」(23.3%)、「ゲームセンターでのゲーム」(24.7%)、「映画鑑賞」(20.7%)が高く、女子では「ペットの世話」(31.4%)、「ビデオ・LDによる映画鑑賞」(29.2%)、「趣味としての料理・菓子作り」(25.4%)、「映画鑑賞」(23.6%)、「美術鑑賞」(20.4%)、「編み物・手芸」(20.2%)、「トランプ・花札・カルタ・オセロ」(20.3%)が高い。(図3)

表3 男女、年齢別「趣味・娯楽」の行動者率 (%)

	10歳以上	15歳以上	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上
男女計	87.9	87.3	94.4	94.8	93.0	88.1	85.2	74.0	59.6
男	88.7	88.2	93.1	94.8	91.6	87.5	84.4	81.0	63.3
女	87.0	86.5	95.7	94.7	94.5	88.7	86.1	68.2	57.4

図3 男女、趣味・娯楽の種類別行動者率 (10歳以上) (%)



社会的活動－「地域社会や居住地域に対する社会奉仕」が高い

○過去1年間に「社会的活動」を行った者は、740千人で、行動者率は28.2%である。男女別の行動者率は、男子が27.1%、女子が29.3%で、女子の方がやや高い。（表4）

地域の人に対する奉仕」(20.6%) が最も高く、次いで、男子では「その他の一般の人に対する奉仕」(4.1%)、女子では「児童・老人・障害者に対する奉仕」(6.2%) が高い。

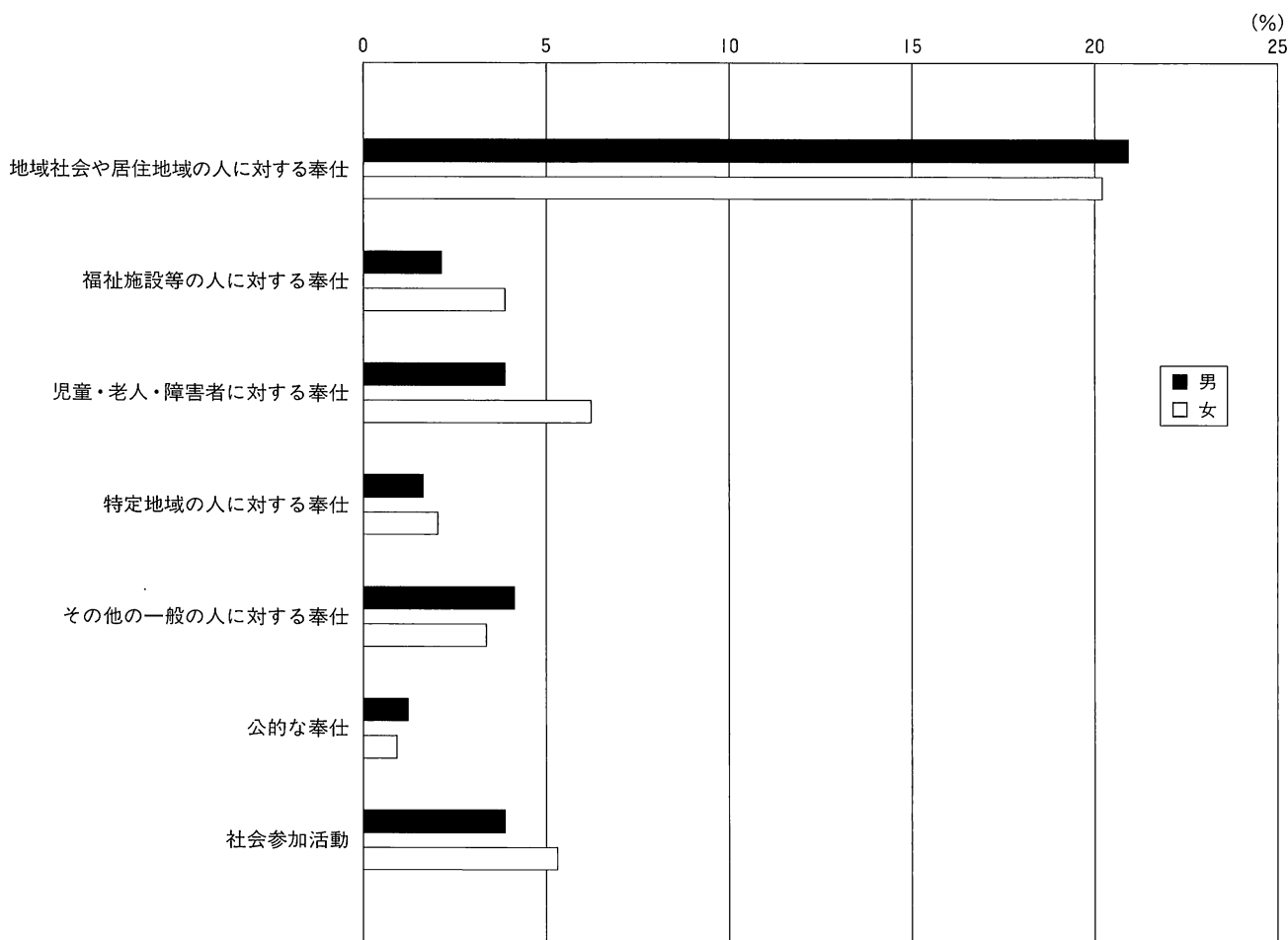
○種類別に行動者率を見ると、「地域社会や居住

(図4)

表4 男女、年齢別「社会的活動」の行動者率 (%)

	10歳以上	15歳以上	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上
男女計	28.2	28.4	13.5	25.6	38.9	36.5	31.5	28.7	17.7
男	27.1	27.5	10.4	21.7	33.7	36.0	32.1	34.4	27.6
女	29.3	29.3	16.7	29.7	44.4	37.0	31.0	23.9	12.0

図4 男女、社会的活動の種類別行動者率 (10歳以上)



旅行・行楽－1年間に旅行・行楽を行った者は2,107千人で行動者率は80.3%

○過去1年間に「旅行・行楽」を行った者は、2,107千人で、行動者率は80.3%である。男女別の行動者率は、男子が79.7%、女子が80.9%で女子の方がやや高い。(表5)

○「旅行・行楽」の種類別に行動者率を見ると、「日帰りの行楽」をした者が64.6%、「1泊2日以上旅行」をした者が68.4%である。「1泊2日以上旅行」では、「国内の観光旅行」

(55.9%)が最も高く、次いで、「帰省・訪問等の旅行」(20.9%)、「国内の業務出張・研修」(17.4%)となっている。

「海外旅行」をした者は、全体では11.3%であるが、35～44歳の男子有業者(20.5%)と25～34歳の女子有業者(20.3%)では20%を越えている。(図5, 6)

表5 男女、年齢別「旅行・行楽」の行動者率

(%)

	10歳以上	15歳以上	15～24	25～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75歳以上
男女計	80.3	80.0	73.5	86.8	86.6	85.7	82.1	75.9	49.2
男	79.7	79.3	67.3	84.4	86.4	86.9	81.2	77.5	47.6
女	80.9	80.7	79.9	89.3	86.8	84.6	83.0	74.6	50.1

図5 男女、旅行・行楽の種類別行動者率(10歳以上)

(%)

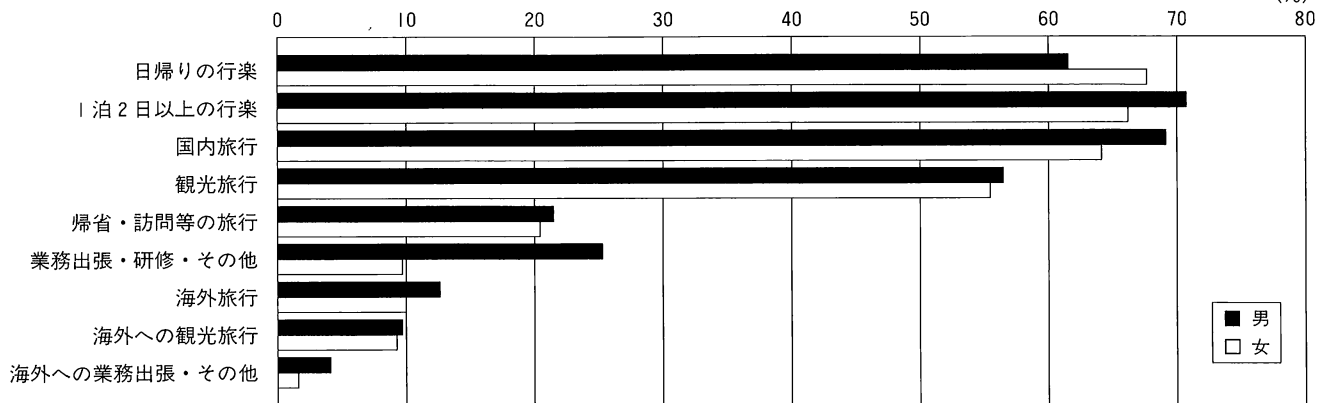
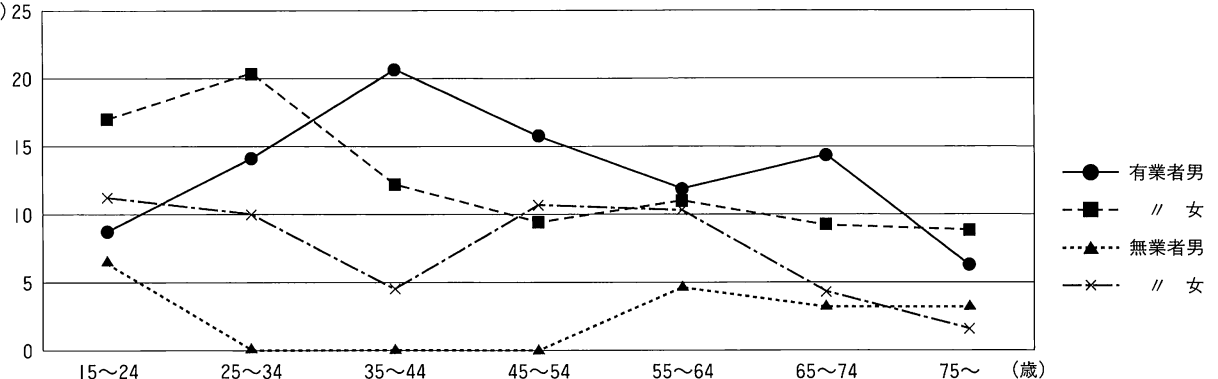


図6 男女、年齢、有業・無業別海外旅行の行動者率

(%)



2. 生活行動の前回との比較

スポーツ——男子では「野球」、「ソフトボール」、「テニス」が大きく減少，女子では「器具を使ったトレーニング」の増加が大きい

○前回との比較が可能な15歳以上の者について見ると，行動者率は，男子が77.9%，女子が65.6%で，前回に比べて男子で4.6%，女子で3.1%減少している。（図7）

学習・研究—女子の「育児・家庭教育」，「家政・家事」が大きく減少

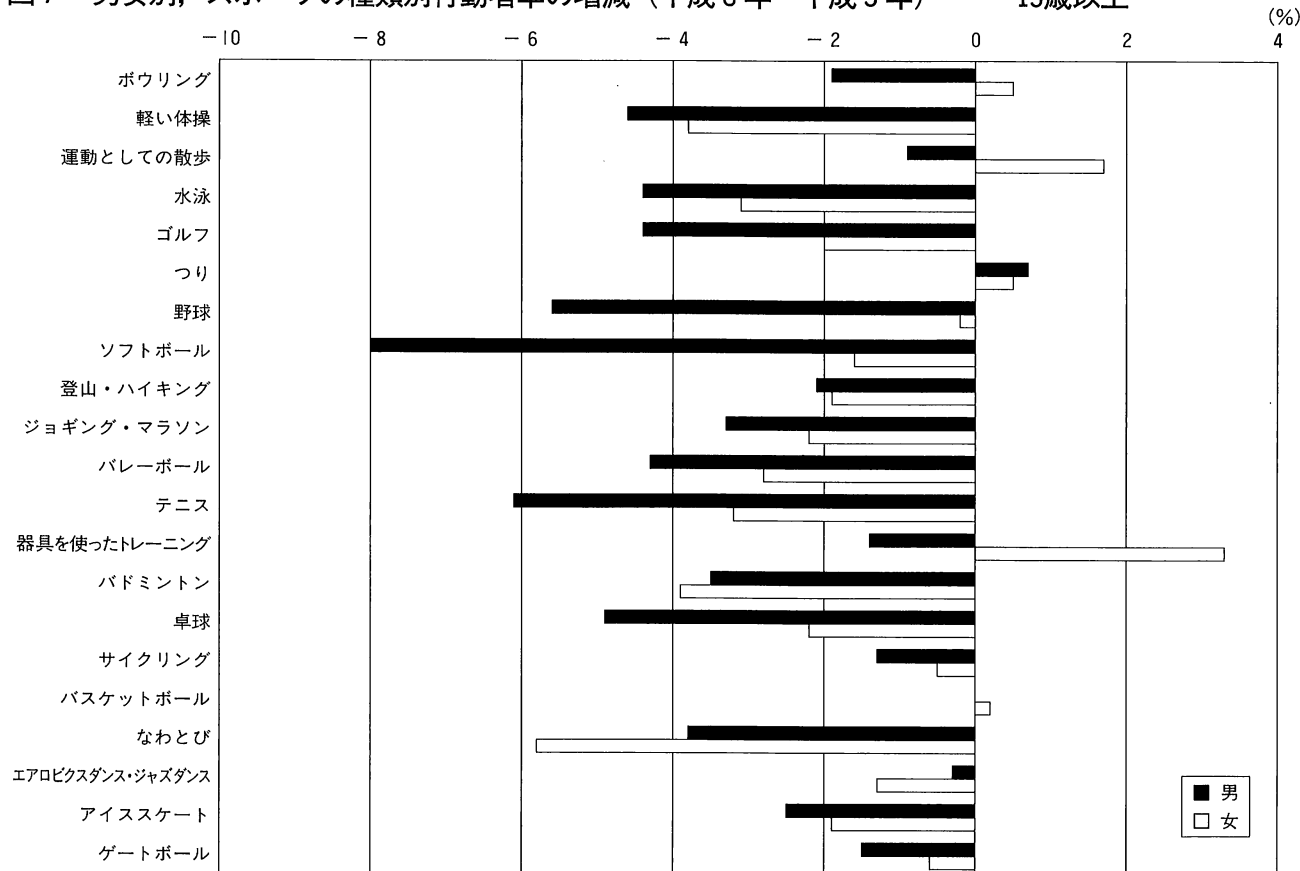
○15歳以上の行動者率は，男子で28.1%，女子で27.6%であり，前回と比べて男子で4.5%，女子で6.5%減少している。

○種類別にみると，前回に比べて行動者率が増加しているものは，男子では「教育・社会福祉」，「家政・家事」，「調理・理容・美容」の3種類，女子では「教育・社会福祉」，「医学・保健」の2種類で，「教育・社会福祉」のみ男女ともに増加している。

一方，減少しているのは，男子では8種類，女子では10種類で，なかでも女子の「育児・家庭教育」，「家政・家事」の減少が大きくなっている。

○男女を比較すると，男子のほうが増加している（減少していない）のが5種類で，女子のほうが増加している（減少していない）のが6種類，男女とも同数が1種類となっている。

図7 男女別，スポーツの種類別行動者率の増減（平成8年—平成3年）——15歳以上



趣味・娯楽—男子の「趣味としての読書」、パチンコ、女子の「和裁・洋裁」で大きく減少

○15歳以上の行動者率は、男子で88.2%、女子で86.5%であり、前回と比べて男子で3.3%減少し、女子で3.2%減少している。（図8）

社会的活動—「地域社会や居住地の人に対する奉仕」は男子で増加、女子で減少

○15歳以上の行動者率は、男子で27.5%、女子では29.3%で、前回に比べて、男子で1.9%減少し、女子で2.5%減少した。

○種類別に見ると、前回に比べて行動者率が増加しているのは、男子では「地域社会や居住地の人に対する奉仕」の1種類、女子では「福祉施設等の人に対する奉仕」、「公的な奉仕」、「社会参加活動」の3種類となっている。

○男女を比較すると、男子のほうが増加している（減少していない）のは「地域社会や居住地の

人に対する奉仕」のみで、残りの6種類については女子のほうが増加している（減少していない）。

このうち、「地域社会や居住地の人に対する奉仕」については男子で1.5%の増加、女子で1.7%の減少と男女で逆の結果になっている。また、「特定地域の人に対する奉仕」、「その他の一般の人に対する奉仕」については男女ともに2%近く減少している。

旅行・行楽—「海外旅行」は男女ともに4%以上の増加

○15歳以上の行動者率は、男子では79.3%、女子では80.7%で、前回に比べて、男子で2.3%減少し、女子で1.0%減少している。

○種類別に見ると、「日帰りの行楽」は男子では

減少し女子では逆に増加している、また、「国内旅行」では男女ともに4%近く減少しているが、「海外旅行」では逆に男女ともに4%以上増加している

図8 男女別、趣味・娯楽の種類別行動者率の増減（平成8年—平成3年）——15歳以上

